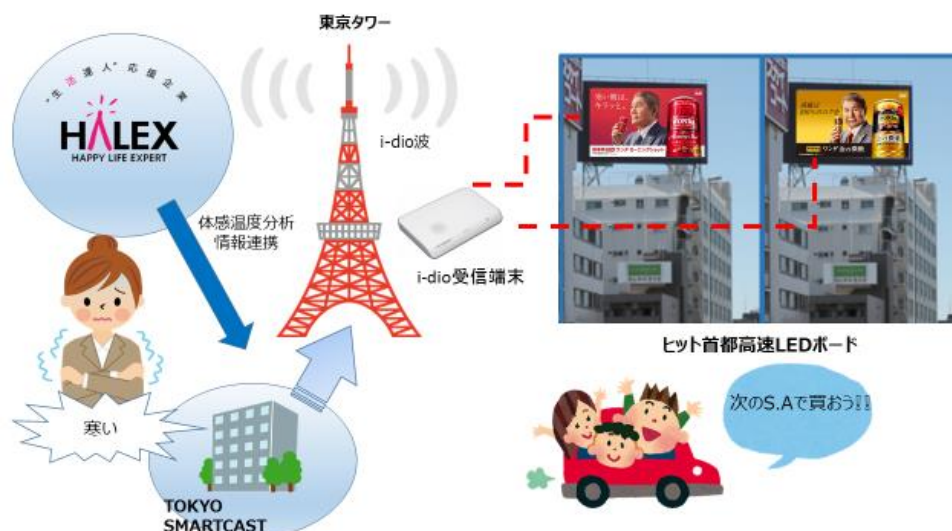


報道各位

TOKYO SMARTCAST・アサヒ飲料・ヒット・ハレックスの4社、i-dio 放送波を 活用した『デジタルサイネージ“体感”気象連動広告』を都内で実施

株式会社エフエム東京（代表取締役社長：千代勝美）のグループ会社で、TOKYO SMARTCAST 株式会社（代表取締役社長：武内英人）と、屋外広告事業者の株式会社ヒット（代表取締役：松丸敦之）は、ヒットが保有・運営する屋外デジタルサイネージに対して、i-dio のデータ放送技術を用いて気象情報と連動した広告コンテンツを配信し、当日の天気や前日との気温差等を考慮した体感温度に応じた広告を配信する『デジタルサイネージ“体感”気象連動広告』の実証事業を実施いたします。アサヒ飲料株式会社（代表取締役社長：岸上克彦）と、気象情報ソリューションを提供する株式会社ハレックス（代表取締役社長：越智正昭）と共同で、“体感”気象に合わせた飲料広告を11月23日（木・祝）から26日（日）まで、首都高速沿いの大型デジタルLEDボードに掲出いたします。



■“体感”気象連動広告でメッセージがより伝わる！新しいOOH広告を放送波で実現

TOKYO SMARTCAST 株式会社は、地上波デジタル放送最高音質で放送する「TS ONE」を運営するほか、法人向けのデータ放送事業を展開し、放送波の利点である一斉同報性、高いセキュリティを生かした活用方法をご提案しています。本事業では株式会社ヒットが運営する首都高速沿いの大型デジタルLEDボードにi-dio受信機器を設置。株式会社ハレックスの提供する天気・体感温度情報と連動した広告コンテンツをデータ放送で伝送し、多拠点のデジタルLEDボードで受信。その時間・場所に最適な広告コンテンツを提示します。

「昨日と同じ気温でも、風が強めに吹くと、体感的にはより寒く感じる」→缶コーヒーのホット飲用を訴求、「乾燥していて喉に違和感を感じやすい」→体調に合わせた乳性飲料を訴求など、アサヒ飲料(株)の飲料商品を、差替表示します。気温センサーなどだけでは評価しにくい「体感」と連動した広告差替を、気象のプロと放送波のプラットフォームで実現し、首都高速道路を走るドライバーの共感を得やすい新たな屋外広告メニューの開発を目指します。

広告は新宿から中央高速方面への導線として交通量が非常に多い、首都高4号線下り・新宿エリアの明大前駅付近と、JCTから東名高速方面へつながる首都高3号線・下り大橋ジャンクションエリアの池尻大橋駅付近の2か所に掲出し、i-dioのデータ放送技術を生かして内容の出し分けも行います。

また、災害時における放送波の耐障害性を活用した用途として、デジタルLEDボードを一斉に制御する技術実証も行います。

■実証事業概要

- ◆名称 : i-dio 放送波を活用した首都高デジタルサイネージによる広告実証事業
- ◆主体企業 : TOKYO SMARTCAST 株式会社
: 株式会社ヒット
: 株式会社ハレックス
- ◆協力企業 : アサヒ飲料株式会社
- ◆実験期間 : 2017年11月23日(木) ~ 2017年11月26日(日)

■新放送サービス『i-dio (アイディオ)』とは



新放送サービス『i-dio』は昨年7月1日に放送を開始した、ジャパンマルチメディア放送グループが展開する新しい無料デジタル放送です。コンテンツプロバイダ各社によるデジタル音声チャンネルのほか、自治体向け防災情報伝達システム「V-ALERT®」や、法人向けデータ放送など、多様なサービスが提供されています。現在の放送エリアは東京・東海・大阪・福岡から順次拡大中です。

i-dio 公式サイト <http://www.i-dio.jp/>

i-dio 総合コールセンター 0570-04-1610 (ナビダイヤル 年中無休: 10時~18時)

■TOKYO SMARTCAST 株式会社について

TOKYO SMARTCAST 株式会社は、地上波デジタル放送最高音質で放送する「TS ONE」をはじめとした、生活を豊かにする様々なコンテンツとの出会いと、「安全・安心」サービスの実現に向けて、放送と通信のデジタルコミュニケーションプラットフォームサービスを提供していきます。



※TOKYO SMARTCAST 株式会社 公式サイト <http://www.smartcast.co.jp/>